



(参考仮訳)

プレスリリース No. 15/33
2015 年 2 月 5 日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

**クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事、
副専務理事に古澤満宏氏の任命の意向を示す**

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、古澤満宏氏を副専務理事に任命する意向を明らかにした。内閣官房参与及び財務省顧問を務める古澤氏は、3月2日に着任予定。2月末で退任する篠原尚之氏の後任を務める。

古澤氏は、東京大学法学部及びフランス国立行政学院を卒業。日本では、財務省で主に国際金融政策及び予算を担当し、財務官を務めた。外交官としてフランス及び米国でも勤務し、米国ではワシントン DC の日本大使館で公使 (金融) を務めた経験も持つ。また、税務行政及び地域政府機関でも要職を歴任した。

ラガルド氏は「日本政府で様々な役職を務め、長きに渡り卓越した功績を積み重ねてきた古澤氏は、豊富な経験で IMF に貢献してくれるだろう」と述べた。

「2010 年から 2012 年までの 2 年間 IMF の日本理事を務めた同氏は、IMF についても熟知している。なかでも、経済と金融の専門家が一堂に会し加盟国全体にとり大きな成功となった、東京での年次総会の開催支援で中心的役割を果たした。」

さらにラガルド氏は「古澤氏を再び IMF に迎え入れることを心待ちにしている」と付け加えた。